

手を握らずに親子



令和6年5月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 33

学校の「保健室」の毎日

「さかむけが剥けちゃったので絆創膏をください」
「机におでこをぶつけました」
「給食をこぼしてしまったので着替えを貸してください」

…小学校の保健室では、体調不良・けが・着替え・トゲが刺さった…などなど…いつもたくさんのおともたちがやってきます。



そんな中、とくに養護教諭が気になるのは…

休み時間になると、特に用事はないけれど、なぜか毎日ひとりでふらっとやってくる子

…体調もよさそうで、顔もニコニコ、そして楽しそうによくしゃべります。私たち養護教諭は、そっとこのような子を見守り、気にかかけます。



ケンカして、教室にいるのが気まずい…気の合う友達がなかなかできない…

中学生や高校生も同じなのですが、自分の席についていればよい「授業中」よりも、それぞれが自由に過ごす「休み時間」のほうがむしろ居場所がなくて辛い…そんな子どもたちがいます。

保健室は、そんな子どもたちの心の居場所になってあげるための場所でもあります。

「親には言えない・・・でも本当は悩んでいる」のサイン

- 「もうすぐ起きる」とばかり言って、なかなか起きてこない
- 朝、登校時間が近づくと「お腹が痛い」とうずくまってしまう
- 朝ごはんを食べるのにいつもより時間がかかっている
- 学校へ行く準備をするのが夜遅く、イヤイヤやっている
- 朝、玄関でほんやり座り込んでなかなか行こうとしない。「どうしたの?」と聞いても「別に・・・」と言うだけ
- 「学校」といった言葉を口にすると、ビクッとして顔をこわばらせる
- 最近食欲がなく、ほんやりしていることが多い
- なんとなくしんどそうで微熱がひかない
- ビクビクした様子で口数が少ない



「あれ、何かいつもと違うぞ」と思ったら・・・

★「なにか悩んでいるの?」と直球で聞くよりも「今日は何の授業だった?」「給食はなんだった?」など、**学校の情景を描写してもらうような質問の方が、いろいろと見えてくる**

★親の意見は控えて、子どもの方から話す話題に耳を傾ける

★保護者同士の横の関係を普段から広げておく。

「うちの子最近様子がおかしいよ・・・なにか知らない?」と聞くと、思わぬ情報が入ることがある



「人生の冒険の旅」に出たばかりの子どもたち。

「この子には乗り越える力があるんだ」と信じて、粘り強く接してあげたいですね!

※心配なことがあればいつでも「保健室」にご相談ください。